

みえ高校生県議会 質問と答弁の概要 (令和6年8月21日) 子ども・福祉部関係

学校名 質問項目	質問の概要	答弁の概要	答弁者
<p>四日市 高等学校</p> <p>『人口減少対策としての結婚に結びつく支援制度について』</p>	<p>少子化による人口減少は、1人あたりの社会保障の負担を増加させ、経済成長の停滞、行政サービスの低下を引き起こす。婚姻率と出生率は比例の関係にあることから、出生率を上げるには婚姻率を上げることが重要である。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所による2021年の出生動向基本調査によると、結婚意思のある未婚者において独身であること理由は「適当な相手にまだめぐり合わないから」が最も多くなっている。県では結婚支援・相談の場として「みえ出逢いサポートセンター」を開設しているものの、依然婚姻率は減少傾向にある。</p> <p>近年、メタバースを活用したマッチングアプリによる出会いが注目されている。マッチングアプリを利用した出会いでは、相手との対面時でのトラブルが多いとの調査結果がある一方、メタバースでは、見た目を自由に決め、場所や時間の制約を受けずに会うことができることでトラブルを軽減しつつ、非現実感を味わうことができるなど、手軽で敷居が低い。</p> <p>桑名市では既にメタバース婚活が取り入れられ、参加者17人中7組のカップルが誕生している。<u>県としてもメタバースを活用して、生活時間帯や居住地、職場を超えて人と人が出会い、繋がることのできるような出会い支援のシステムづくりに取り組んでほしい。</u>ただし、この提案は決して結婚という価値観を押し付けるものではなく、出会いの少なさによって結婚を諦める人を減らすことを目指すものである。</p>	<p>県は、未婚率の上昇を少子化の要因の一つと捉え、「みえの出逢いサポートセンター」を設置して相談支援や市町・企業・団体による出会いイベントの情報を発信しているほか、結婚を希望する方のマッチングをお手伝いする「みえの縁むすび地域サポーター」を募集するなど、結婚を希望する方の多様なニーズに応じた出会い支援に取り組み、結婚を希望する方の望みが叶う地域社会の実現を目指している。</p> <p>県では、インターネット型婚活サービスについて、メタバースを活用した出会い支援の取組はないが、民間事業者と協定を結び、セミナーなどにより安心安全かつ効果的に婚活に取り組めるようサポートしており、今後も一人一人に寄り添った効果的な出会い支援の事例研究を進めていきたいとの意向を示している。</p> <p>県議会においては今回の提案を委員会で紹介するとともに、交際・結婚相手との出会い方の変化だけでなく、結婚を希望しているのにできない人が増加している問題について、しっかりと調査して議論を深めていきたい。</p>	<p>医療保健子ども福祉病院常任委員長</p>